

モニタリング調査結果の検証手法（景観・親水性）

（市川海岸塩浜地区の護岸改修に関するアンケート 実施計画書）

1. アンケートの目的

平成 18 年度の当該護岸改修事業における順応的管理の検証手法の検討においては、護岸の“景観・親水性”に関し、地元自治体を中心に一定の母数を持った無作為の住民アンケートにより、概ねの傾向をつかみ検証を行うとともに、アンケート結果のフィードバックを行うものとした。

そこで、今回、別紙のようアンケートを作成し、近隣住民が市川海岸塩浜地区や三番瀬の海岸の“景観・親水性”について、日頃からどのように考え、どのような期待をもたれているのかを調査し、改修護岸の“景観・親水性”の評価の参考とすることを目的とする。

2. アンケートの内容

- ・次頁以降にアンケート内容を示す。改修前後の景観に対するアンケートは SD 法により、現況の写真、護岸改修イメージスケッチや写真を掲載し、その印象について質問を行う。その結果を因子分析して景観に対する定量的な評価を行う。
- ・また、護岸のバリエーションについても質問を行い、今後の計画の参考資料とする。

3. アンケートの対象範囲

- ・現在では、主に釣りや散策等の利用が多いと考えられ、自転車等で対象箇所に来ている人が多いと考えられることから、自転車で対象箇所へ気軽に来れる距離を想定し当海岸から 3～4km 圏内と考える。

4. アンケートの対象年齢

- ・対象年齢は、本アンケートの内容を理解できる年齢として 15 歳以上を対象とする。

5. アンケートの配布数

- ・住民基本台帳から無作為抽出して 2,000～3,000 通を配布する予定。
（有効回答数を 600 通程度、回収率を 20～25%程度と想定）

6. アンケートの配布・回収方法

- ・基本的に郵送による配布・回収によるものとする。（回収率が低い場合は、現地配布も別途検討する。）
- ・アンケート配布から回収の締めきりの期間は、約 2 週間（2 回の土日を挟むよう）と考える。